

Nippon Hyoron Sha Co.,Ltd.
PUBLISHERS
Tokyo, Japan

経済セミナー増刊
総力ガイド！ これからの経済学
マルクス、ピケティ、その先へ

第Ⅰ部 経済学のいま

【鼎談】 Discussion

経済学はどこから来て、どこに向かうのか？ [岩井克人×橋本努×若田部昌澄]

【図解！ 経済学説史】 History of Economics

学説からたどる経済学の歴史 [山崎好裕]

【経済学再考】 Re-examination of Economics

経済学とはどのような学問か [伊藤元重]

なぜ「主流派経済学」は「主流派」になったのか [山崎聡]

マルクスから見える資本主義の問題点 [的場昭弘]

「経済学批判」はどのような歴史的系譜をもつのか：異端派と反経済学の展開
[佐藤方宣]

『21世紀の資本』は資本主義の失敗を物語るか [二宮厚美]

ある実証経済学研究者の、トマ・ピケティの著作への感想 [神林龍]

第Ⅱ部 挑戦する経済学

(1) 歴史的な大転換に挑む

【インタビュー】歴史の流れと経済学 [吉川洋]

【マルクス経済学】社会の地殻変動を把握するトータルな思考 [沖公祐]

【オーストリア学派】市場の機微への深淵な洞察を生み出し続ける独自の歴史と視点
[尾近裕幸]

【制度経済学】一世紀の時を経て再生・復活、経済システムの多元性と進化の経済学へ
[磯谷明徳]

【ケインズ経済学】ケインズ経済学の生誕と興隆 [小峯敦]

【ポスト・ケインズ派】「有効需要の原理」を軸に代替理論の構築をめざす [鍋島直樹]

【レギュレーション理論】比較制度分析と歴史分析にもとづく経済学の革新 [遠山弘徳]

【新自由主義】自由で、公正で、効率的な市場というスローガンは現実か [服部茂幸]

【政治経済学】資本主義と民主主義、あるいは資本主義と福祉国家の両立は可能か
[若森章孝]

Nippon Hyoron Sha Co.,Ltd.
PUBLISHERS

Tokyo, Japan

(2) 経済学のフロンティアに挑む

- 【インタビュー】サイエンスとしての経済学を始めよう：フューチャー・デザインを目指して [西條辰義]
- 【進化経済学】生物進化の視点からリアルな市場経済を理解する [西部忠]
- 【経済物理学】経済物理学の誕生・発展、そして、収穫期 [高安秀樹]
- 【ファイナンス】ファイナンスはどういう分野か [大橋和彦]
- 【空間経済学】立地と貿易、そして脱「国境」 [佐藤泰裕]
- 【行動経済学】伝統的経済学の枠組みを広げて現実の人間行動を描写する [大竹文雄]
- 【神経経済学】経済行動の意思決定メカニズムを解明する新分野 [田中沙織]
- 【実験経済学】人間の認知・思考過程を明らかにする [川越敏司]
- 【マーケットデザイン】制度設計の科学への招待 [小島武仁]
- 【家族の経済学】家族の役割という古くて新しい問題に取り組む [宮澤和俊]
- 【教育経済学】教育政策の効果測定に向けて [中室牧子]
- 【医療経済学】人々の「健康」のために、発展し続ける経済学 [野口晴子]

(3) 政策運営に挑む

- 【インタビュー】経済学と政策をつなぐ [安田洋祐]
- 【ミクロ経済学】市場と価格の役割に対する理解を深める [林貴志]
- 【マクロ経済学】賃上げが救う世界のマクロ経済 [脇田成]
- 【計量経済学】経済行動の数式表現と数値計算 [森棟公夫]
- 【ゲーム理論】経済学とゲーム理論：歴史と展望 [小原一郎]
- 【産業組織論】今日の技術と市場を考える [青木玲子]
- 【厚生経済学】個人の厚生と規範に光を当てる経済学 [後藤玲子]
- 【公共経済学】市場メカニズムを「補い」、「正す」政府の活動を分析する [村瀬英彰]
- 【国際経済学】グローバル化でわれわれの生活は悪化するのか [友原章典]
- 【労働経済学】労働経済学では格差をどう捉えてきたか [黒田祥子]
- 【環境経済学】多種多様な環境問題を分析する [馬奈木俊介]
- 【開発経済学】理論と現実には根差した発展メカニズムの探求 [鈴木綾]
- 【法と経済学】法は希少な資源を配分する [常木淳]
- 【経済史】歴史学の方法と経済学の知見を統合 [岡崎哲二]

(4) ピケティの問題提起に挑む

- 【インタビュー】経済学に懐の深さを [中山智香子]
- 【グローバル税制】資産格差縮小のための有効な政策手段 [諸富徹]
- 【所得格差】格差是正策がなければ経済成長は見込めない 橘木俊詔
- 【フランスの経済思想】共生のための経済思想：MAÛSS [藤岡俊博]
- 【対抗的グローバリズム】グローバリゼーションに伴う諸問題の批判的検討 [大屋定晴]

Nippon Hyoron Sha Co.,Ltd.
PUBLISHERS
Tokyo,Japan

書評コラム

- アダム・スミス『国富論』 [野原慎司]
リカードウ『経済学および課税の原理』 [佐藤有史]
マルクス『資本論』 [田中英明]
マーシャル『経済学原理』 [松山直樹]
ピグー『厚生経済学』 [高見典和]
ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』 [伊藤宣広]
シュムペーター『資本主義・社会主義・民主主義』 [酒井弘格]
ポラニー『大転換』 [若森みどり]
ハイエク『個人主義と経済秩序』 [吉野裕介]
フリードマン『資本主義と自由』 [原谷直樹]
ピケティ『21世紀の資本』 [山田知明]